



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

リビア：国民議会選挙実施直前の状況

(2日付現地各紙ほか)

リビアでは、2012年7月7日に国民会議選挙が実施される予定である。しかし、一部地域では、選挙をめぐる混乱が生じている。

1. 最高選挙委員会ベンガジ事務所前での抗議行動の発生

2012年7月1日、東部ベンガジで、約300人が最高選挙委員会のベンガジ事務所前に集まって抗議活動を行った。その中の暴徒化した一部の抗議者は、同事務所前に積まれていたコンピューターや投票箱を破壊した。

ベンガジでは、7日に実施予定の国民会議の議席配分をめぐり、不満が高まっていた。現時点では、トリポリ及びリビア西部には100議席、東部には60議席、南部には40議席が配分されている。そのため、東部を中心とする連邦制導入支持者達による抗議活動が断続的に発生している。

なお、国民議会の定数200人中、独立候補には120議席、政党候補には80議席がそれぞれ配分されている。

2. ムスリム同胞団系の政党事務所に対する襲撃事件の発生

7月1日、東部マルジの「正義開発党（リビア・ムスリム同胞団系政党）」事務所が身元不明の武装団体の襲撃を受けた。被害状況は不明であるが、ハサン・マスード同事務所長によれば、襲撃は大規模なものではなく、関係当局に対し、警備強化を要請したとされる。

3. 最高選挙委員会委員長の発言

7月2日、ヌール・アッパール最高選挙委員会は、7日に予定されている国民会議選挙の投票に向け、技術上、ロジスティック上のあらゆる準備が完了したと述べた。同選挙の投票は、6月19日に予定されていたが、7月7日に延期されていた。同委員長は、選挙が再び延期されることはあり得ないことを強調した。

※国民議会選挙に関するこれまでの経緯

2012-01-28 国民暫定評議会は、フェイスブック上で、国民会議選挙の実施に向けた選挙法を採択したことを明らかにした。同選挙法は、定数の200議席のうち3分の2にあたる136議席を政治集団からの立候補者向けとし、残る3分の1にあたる64議席を無所属の立候補者に配分すると規定。一方、女性枠は取り止められた。

2012-02-08 国民会議選挙法が公布された。候補者は、21歳以上で読み書き可能な者でなければならず、前政権の関係者や「緑の書」の研究を行った研究者等の立候補の禁止は維持された。選挙は、6月23日までに実施され、選挙で選ばれた国民会議は憲法草案を制定し、1年間国事を司る。選挙区の詳細は、2週間以内に発表される。

2012-03-15 国民暫定評議会は、地方の声を反映させるために、2011年8月の憲法宣言で明らかにされた内容を一部修正するとした。国民会議の定数200名は、東部100議席（それまでは102議席）、西部60議席、南部40議席（それまでは38議席）となる。また、国民会議の選出後、新憲法の草案をになう60名の専門家委員会の委員ポストについては、西部トリポリタニア地方、東部キレナイカ地方、南部フェッザーン地方で平等に配分される。

2012-04-24 国民暫定評議会は、宗教、地域、部族に基づく政党の結成を禁止する政党法案を採択した。外国からの資金援助も禁止。25日のAFPは、イスラム組織や連邦を支持する勢力らが、同法案を批判していると報道。

2012-05-17 国民会議選挙での立候補の受付が終了。

2012-06-10 最高選挙委員会のアッバール委員長は、記者会見で、6月19日に予定されていた国民会議選挙の投票を7月7日に延期すると発表。延期の理由は、選挙法を始めとする各々の法律の修正が必要になったこと、有権者登録を1週間延長したために登録作業が増加し、最終候補者リストの作成が間に合わなくなったことであるとされた。

2012-06-16 最高選挙委員会は、国民会議の選挙キャンペーンを18日から開始するよう指示した。選挙運動期間は、6月18日から7月5日まで。142政党が参加し、候補者は独立系2504人、政党候補者1206人。議席は200。